国内事業の部　　事務局　　滝沢　辰洋

６０周年事業として、海外ばかりでなく国内活動も実施していく。学士山岳会員相互の交流はもちろんのこと、広く関係者を募り、充実した事業を行なっていく。地道な活動が山岳会の現役を確保できることに繋がっていく道であることを確信している。

山と森の学校　　リーダー　森田稲吉郎、

この学校は全国の高校生の登山愛好家（山岳部・ワンダーフォーゲル部員）と一般を対象とする二つの企画がある。高校生対象の計画は来年度実施の方向で検討していくものとして、今年度は一般対象の計画を実施する。

１）　デジカメ山岳写真教室
① 日時　5月１６日（土）１７日(日)　予定
② 参加人数　３０名
③ 内容
　１６日　信州大学本部教室でデジタルカメラの機能を学び、パソコンによるデーター処理を学ぶ。
　１７日　上高地にて実技指導を行なう。
④ ４月中に募集を行なう予定

２）　花の山旅、高山植物観察教室
① 日時　7月１９日（日）～２０日（月）予定
② 参加人数　２５名
③ 内容　八ヶ岳硫黄岳ジョーゴ沢右俣付近
④ ６月中に募集を行なう予定

３）　特別講演：『事故を起こさない中高年登山』
① 日時　１０月　予定
② 参加人数　５０名
③ 内容　信州大学医学部の先生を予定
④ ９月中に募集を行なう予定

４）　ローツエ南壁写真展と講演会『私のヒマラヤ』
① 日時　写真展　6月９日(火)～１４日（日）
　平日 10:30~20:00　日曜 13:00~18:00
　講演会　6月１３日（土）16:30~18:30
② 場所　東京都中央区銀座４丁目２－１　日本基督教団銀座教会
　東京福音会センター　03-3561-2910
③ 講師　信州大学学士山岳会員　田辺　治
④ 共催団体「田辺治さんとヒマラヤへ行きたい会」代表高橋正雄
　協賛団体　伊那食品株式会社
　詳細案内は、後日関係者に配送する予定

上高地サマーテント計画

リーダー　　古賀　聡
サブリーダー　松尾　武久・宇都宮　昭義

上高地サマーテントは５０有余年脈々と続く夏季のイヴェントである。
この開催は、今６０周年事業の国内事業の中核をなすものであり、規模、期間、装備を拡充して広く交流の場とする。０７年は延べ８３名、０８年は１０１名の参加があったが、今年は１５０名程度の参加を期待したい。
信大本部関係者も山岳会がサマーテントを開催していることを知らない現状となっており、まして学生も知らない状況であるので、大学広報を通じて PR に務め、新人確保の一助とする。

① 期間　8月１日（土）～１６日（日）１６日間（昨年は１１日間）
② 規模　小梨平以外にもサテライトテントを出す。
　候補地：奥又白池畔、横尾、岳沢、徳沢、涸沢
　明神の信大上高地ステーションの活用を企画する
　ここ２年間で懐かしのルートの確認を図ってきた
　S 字ルンゼ、ひょうたん池、霞沢岳八衛門沢、明神５峰最短コース、奥穂高南稜
　今年は次のコースの確認をする
　わさび沢、前穂 A 沢、下又白横断、明神東稜、こぶ尾根
③ 装備　これまでも部報 No2 編集委員会の残金を使い、装備の充実を図ってきたが、
　さらに家族や OB が来やすい態勢を整える
　夏用シラフを増やす。（毛布は殆ど使用不可）
　家族用テントの増設，食天の拡充
　調理道具の刷新、圧力釜、プロパンガスの利用の検討、その他、
④ 人員の確保　早くから呼びかけを行い広く参加者を募る
　テント設営時、撤収時の人員、車の確保
　村長・管理責任者の確保
　今年は開催期間を分割して３名の責任者を確保する
　第一クール　１日～５日
　第二クール　６日～１０日
　第三クール　１１日～１６日

信州大学山岳会・学士山岳会ホーム・ページの充実

リーダー　　宇都宮昭義

現在、会員相互のコミュニケーションツールとして「春寂寥」があるが、さらに各人が行った山行記録、随筆、山岳写真等の投稿を受け付け、信州大学山岳会・学士山岳会の広報・情報発信の場としてホームページを刷新し、絶えず新しい情報を更新していく。
信州大学ホームページとリンクしており、新人獲得の有効なツールとなると考える。

ホームページアドレス	信州大学山岳会	http://arayo.jp/
	信州大学学士山岳会	http://arayo.jp/index-gakusi.html
	信州大学	http://www.shinshu-u.ac.jp/